

花と緑の銀行だより

211号 2019.5



富山県中央植物園 桜並木・フローラルステージ 2019.4

目次

- ・花と緑の提言 砺波市における緑花推進の取組みについて（砺波支店）…………… 2
- ・活動事例 上市町の緑化推進活動について（上市支店）…………… 3
- ・技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン 西洋オダマキ（職藝学院 渡邊美保子）…………… 4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 ツツジ（樹木医 西村正史）…………… 5
- ・報告・紹介 とやまの花壇 ～歌の森運動公園西側花壇～…………… 6
- ・この人あり 人が憩い心とむ花壇に（立山支店利田地方銀行 米田千恵子）…………… 7
- ・報告・お知らせ 6月～8月の主なイベントなど …………… 7



砺波市における緑花推進の取組みについて

花と緑の銀行 砺波支店長

砺波市長 夏野 修

砺波市では、市民憲章において、「花や緑を愛し美しいまちをつくります」と定め、「砺波市花と緑のまちづくり条例」に基づき、「花と緑のまちづくり」の指針となる「グリーンプラン」を策定し、市民の皆さんと一緒に散居景観の保全や花と緑に包まれた美しいまちづくりの推進に取り組んでいます。

花と緑の銀行砺波支店では、各地区で管理する花壇に花苗やチューリップ球根、さらに希望する地区に対してはプランターや緑花木も配布しています。

このほか、「チューリップの学級づくり事業」として、市内の幼稚園、保育所及び認定こども園を対象に、毎年チューリップの水栽培セットを送付しているほか、今年度からは市内小中学校の児童・生徒を対象に、「花のまちづくり新拠点創出事業」を活用し、学校花壇づくりを体験させることで、花や緑を愛する心を育んでいます。

また、当店では、市民による緑花活動を推進しており、チューリップ公園及びチューリップ四季彩館において、市民参加による花壇コンクール「私たちの夢花壇」を実施しているほか、市内の小中学校や幼稚園の花壇、各地区で管理する花壇、個人で管理する生け垣を対象にした「砺波市花と緑のコンクール」も実施しています。

さらに、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、砺波チューリップ公園を主会場に開催している「となみチューリップフェア」は、国内外から毎年約30万人もの来場者がある本市を代表するイベントであり、当店の頭取及びグリーンキーパーには「花のお・も・て・な・しボランティア」として、会場内の清掃や花摘みのほか、「花さじき」の設営にも参加いただいております。

なお、「花さじき」に使用したプランターは、市内21地区の花と緑の銀行地方銀行に配布し、地区の緑花推進に活用しています。

本市では、温かく気高い市民気質のもと、健全な緑花活動が推進されており、これらの活動は高く評価され全国レベルの表彰を多く受けていま

す。元号が「令和」に代わった新しい時代においても、個人の緑花意識の醸成や地域全体での緑花活動の取組を推進してまいります。



写真1 花さじきの設営



写真2 花さじき



写真3 おもてなしボランティアの活動

上市町の緑化推進活動について

花と緑の銀行 上市支店

上市町は、富山県東部に位置し、白岩川、上市川、早月川といった水源からなる豊かな田園風景と、日本百名山の一つ「劔岳」の勇壮な姿が広がる自然の恵み豊かな町です。また、町内には、万病に効くとされ、全国各地から参詣者が訪れる全国名水百選の「穴の谷の霊水」や、日石寺を始めとする歴史ある寺院、伝統の繊維業、売薬業に加え、近年では化学工業も盛んであり、自然、伝統文化や工業等、魅力と存在感あふれる町です。

2012年には、NPO法人森林セラピーソサエティより、眼目・大岩・馬場島の3つのエリアからなる「劔・きらめきの森」が森林セラピー基地として認定されました。

上市町では、森林セラピー基地でのウォーキングやヨガといった基本的なプログラムに加え、各エリアの特色を活かした多種多彩な癒しプログラムを提供しています。なかでも、大岩エリアでは、細田守監督（上市町出身）のアニメ映画「おおきくちの雨と雪」で主人公の花たちが住む家のモデルになった、古民家「花の家」を見たり、日石寺で不動明王像の写仏や、滝行をするなど、他にはない特別なプログラムを体験することができます。

このような上市支店では、現在19名の頭取、グリーンキーパーが在籍しており、地域の緑化推進のため、日々花と緑の活動を進めています。平成25年に新町制60周年記念としてリニューアルした花壇での花づくりが主な活動です。

花壇はスーパー農道沿いのオープンスペースに整備されており、通行者の方からよく見えるようになっています。上市町内外から通る人に癒しの気持ちを提供し、上市町のイメージアップにつながることを目指し、花づくりを行っています。花の色合いや、配置等のデザインの工夫、植栽後の水やり、施肥、花がらつみ等の維持管理も1年通して行い、よりよい花壇になるよう、全員で協力し合い、試行錯誤しながら活動を進めています。

また、昨年度は上市駅周辺に期間限定ではありますが、葉牡丹やビオラを植えたプランターを設

置し、地方鉄道等を利用される方に花を見て楽しんでもらいたいとの気持ちを持って活動を行いました。今年度は花の種類や見せ方に工夫を凝らし、試行錯誤しながら取り組みたいと思います。

昨年度の活動を通して、より一層花壇への愛情と花づくりへの意欲が深まったと感じます。これからも様々な行事を通して、他支店の方と協力しながら富山県全体の花と緑の活動を推進してまいりたいと思います。



写真1 ふれあいガーデン



写真2 作業風景

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ～ 32 西洋オダマキ ～

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

西洋オダマキはヨーロッパ原産の宿根草です。自生地では5月になると明るい林や草原などで青紫色の花が咲き始めます。イギリスでは今から400年も前に書かれたシェイクスピアの作品にも登場し、古い時代から親しまれてきた宿根草であることがわかります。現在では数多くの園芸品種があり、草丈は30cmから100cm位、花色は青、桃、赤、黄、白など様々で、八重咲きの花もあります(写真1)。西洋オダマキは、早春の庭で他の宿根草がようやく芽を出した頃には、すでに美しい銀灰色の葉を広げてくれるのでおすすめの宿根草です。

チューリップの新芽が顔を出す頃、西洋オダマキの葉は握りこぶしを振り上げたような姿で土から出てきます。一枚ずつ順番に同じところから生まれてくるように見えます。葉はゆっくり開いて鳥の羽根のような切れ込みのある形に変わってゆきます。こんもりと噴水状に盛り上がると、その真ん中から一本の花茎が立ち上がってきます。花茎は枝分かかれしながらその先につぼみを付けます。つぼみが色づいてふっくらしてくると、まるで5羽の鳩が輪になってくちばしをつつきあっているような姿になります(写真2)。

西洋オダマキは、花が満開になる頃には花の付け根が釣り竿のように曲がり、うつむきながら咲

き始めます。外側の5枚の花弁のように見えているのはガクで、先端がくるりと曲がった筒状の花弁がガクの間に挟まっています。花が終わる頃になると、今まで下を向いていた花が上を向き始めます。そろそろ種ができ始めましたよ、という相図です。しばらくすると花弁とガクはパラパラと地面に落ちてゆきます。くたびれた雄しべをくっつけて緑色の種が現れます。花が咲いている時には曲がっていた茎は、今度はお天道様の光をまんべんなくもらえるように真っ直ぐになります。一番初めに咲いた花が種になってもその下のつぼみたちは、ゆっくりと咲いてゆくので開花期間は3週間ぐらいです。種が赤紫色に変化してゆく姿も美しいので長く楽しめます。

西洋オダマキは、明るい半日陰から日向を好みます。水はけがよく有機質に富んだ土なら表面が乾きやすい場所でも良く育ちます。宿根草の中でも寿命は短く4～5年も咲いてくれたら頑張ったほうです。西洋オダマキはいろいろな品種を一株ずつ点々と植えると、うつむいて咲く優しい色合いの花が空中で踊っているように見えてきれいです。こぼれ種で増え自然に交配して親とは違った色の花が咲きますので、自然風な庭づくりと偶然を楽しみたい方にはぴったりの花です。



写真1 西洋オダマキの八重咲きの園芸品種。5月初旬。淡い紫の部分がガクで、その下の白いのが花びら。



写真2 一重咲きの西洋オダマキ。くちばしのように見える部分には甘い蜜がある。ハチが好んで訪れ受粉する。

庭木に利用する樹種の特徴と管理

～ ツツジ ～

日本樹木医学会富山県支部
樹木医 西村 正史

サクラの花が終わる4月下旬から5月中旬にかけて、庭、公園、街路では、色鮮やかな赤や桃色あるいは白い花を咲かせるツツジが目立ちます。ツツジはツツジ科ツツジ属の総称で、野生種や多くの園芸品種が含まれる常緑広葉樹の低木です。

今回は、庭木等に向いているツツジの園芸品種のいくつかを紹介します。

1 特性

一般的に樹勢が強く、あまり土質を選ばないので、どこでも育ちますが、日当たりがよく、保水性のある排水のよい酸性土壌（pH4.5～5.5）を好みます。代表的な園芸品種は以下のとおりです。

1-1 オオムラサキツツジ

江戸時代から栽培されている園芸品種です（写真1）。移植が容易で、大気汚染に強く、萌芽力が旺盛で剪定に耐え、土地を選ばないという特徴があり、道路緑化などに多用されています。

1-2 クルメツツジ

江戸末期以後に久留米で改良された品種群です（写真2）。小輪多花性で、開花期には樹冠全体が花に覆われるように咲き、乾燥に強く、庭木として広く利用されています。

1-3 キリシマツツジ

鹿児島県霧島の自生種から江戸時代に選抜された有名な庭園用の園芸品種です（写真3）。

1-4 リュウキュウツツジ

白色のツツジの代表種です（写真3）。



写真1 オオムラサキ（左下は花の拡大写真）

丈夫で耐寒性にすぐれ、日本各地で広く庭園等に植栽されています。和名の由来は、琉球を經由して広まったことからきていると言われています。

2 管理

植栽する前にツツジの生育特性を考慮して植栽すれば、問題なく管理することができます。しかし、注意すべき点がいくつかあります。

1つ目は、整枝剪定が遅くなると、翌年の春に咲く予定の花芽を切断してしまうので、花が咲きません。対策としては花が終わった後すぐに剪定することです。

2つ目は、葉を食べるルリチュウレンジと葉を吸汁するツツジゲンバイムシが発生しますので、スミチオン乳剤等で対応してください。

3つ目は、褐斑病や斑点病が発生します。病気の場合は予防が大切ですので、トップジンM水和剤等の殺菌剤で対応してください。時々、もち病が発生しますが、これは取り除いてください。

なお、写真1～3はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。



写真2 クルメツツジ（左下は花の拡大写真）



写真3 キリシマツツジ（左）とリュウキュウツツジ（右）

とやまの花壇 ～歌の森運動公園西側花壇～

富山県内にあふれる、地域の皆さんが丹精込めて管理育成されている素晴らしい花壇をご紹介します。癒しとインスタ映えのスポットです。ご来訪をお待ちしています。

1 花壇の特色

歌の森運動公園西側花壇（以下、歌の森花壇）は、射水市の中央図書館、文化ホールなど公共施設が集まる、運動公園の一角にあり、多くの市民の安らぎと語らいの場として親しまれています。

市街地にある花壇として、市民の交流の場・憩いの地として、富山を代表する花壇です。

＜主な表彰歴＞「小杉花作り同好会」として
H15～17 県花のまちづくりコンクール（一般花壇）最優秀賞
H17 全国花のまちづくりコンクール 優良賞（推進協議会長賞）
H24 全国花のまちづくりコンクール 大賞（国土交通大臣賞）
H18～ 県花のまちづくり 推奨花壇・推進モデル花壇

2 活動概要

（1）取組み

運動公園グラウンドの芝生植生予定地を花壇とするよう、地元同好会として行政に強く要望し整備されました。平成11年より「小杉花作り同好会」として活動しています。現在、会員は41人で、この歌の森花壇での経験を各地域に持ち帰り、頭取、グリーンキーパーとして地元での花づくりに活かしています。いわば、歌の森花壇は、小杉地区の花づくりの学びの聖地となっています。

また、会として積極的に県内外の優秀花壇・事例を見学し、各種講習会にも参加し、新しい花づくり・花壇づくりの技術の習得と向上に努めています。昨年は、花と緑の大会（H30）で紹介のあった「たねダンゴ」による新しい種まき手法にもトライしました。

（2）花壇の管理とくふう

80mのメイン花壇と、並行する市道沿いのボーダー花壇からなっています。

・メイン花壇は5つのブロックとし、それぞれに担当を決め特色を出し、100種以上の草種・品種を植栽し、新たな品種の勉強にも取り組んでいます。

・土づくりなどの全体一斉作業とブロックごとの作業（定植など）を組み合わせ、さらに、生育期の水やり、除草は当番制で実施しています。

・月1回、一斉作業として生育状況を全員で話し合いながら、中耕や除草、花柄摘み、追肥、薬剤散布などを実施し、早春から晩秋までの一連の花

づくりを、各自が学べるようにしています。

・作業時には、各地元の花壇の育成状況を話し合い、技術、知識の平準化と向上に努め、種苗の交換、株分け株・こぼれ苗を持ち帰るなど、多様な草花の広がりを促進し、なによりも楽しい「人と花づくりの交流の場」となっています。

3 おもい



写真1 月に一度の一斉作業

歌の森花壇での活動、交流により、花づくりの輪が地区の内外に広がっているように思います。県の推進モデル花壇として連続認定され、平成24年度には全国花のまちづくりコンクールで大臣賞を受賞するなどし、地元市民の皆さんだけでなく県内外から多くの方に訪れていただいています。

同好会では、この後も①花によって子供たちの笑顔があふれ、②心豊かな子供たちが育ち、③世代を超えた絆が実感できる——花のまちづくりを進めたいと思っています。私たちの花のまちづくりの輪が、市の内外に、そして県内外に広がっていくことを願っています。

（以上、小杉花作り同好会の佐野武彦さん、島道雄さんから、お話をお聞きしました。）

○花壇の概況

- ・規模 面積 290㎡、長さ80m
- ・見頃 7月～10月
- ・世話人 小杉花作り同好会
- ・住所 射水市戸破1441-1（歌の森運動公園西側）



写真2 多彩な草種・品種を立体的に植栽（左：メイン花壇 右：ボーダー花壇）2018.7



人が憩い心とむ花壇に

立山支店

利田地方銀行 頭取 米田 千恵子

私たちの利田地方銀行は、常願寺川の東側に位置し、県下でいち早く圃場整備が行われ、整然とした田園風景や立山連邦の美しい雄姿を眺めることができる地域です。近年、宅地造成や工場誘致が進むとともに、大型スーパー及び家電量販店の出店等もあり、地域の人口が増加し交通量も多くなるなど、目まぐるしく変化してきました。

そのような地域の中で、私たちは町立利田公民館を中心とした周辺地域を活動の拠点としています。公民館では、各種会合やサークル活動が盛んに行われ、いつも人が多く集まるとともに、小学校にも近く、地域の皆さんの「集合場所」や「憩いの場所」となっています。会員6名で楽しく作業し、植栽を工夫しながら除草や水やりの維持管理に取り組んでいます。

春は、チューリップ花壇の除草から始めます。赤や黄色の色とりどりの花が咲く頃、高学年のお兄さんお姉さんに守られながら重そうなランドセルを背負って集団登校する新1年生が、花を見て「ほっと」した笑顔で通り過ぎます。5月中頃から、チューリップの球根を掘り上げ、秋植え用に保存します。ここからが大変で、プランターの土を出し、土壌改良材や肥料を混ぜ合わせて、根腐れ防止に気を遣うなど、花苗の植栽作業を会員全員で行い、汗びっしょりになります。

水やりの当番は1週間毎に会員で協力して行います。特に7月から8月の暑い時は、朝夕2回水やりを行うなど大変ですが、色とりどりの

日々草やマリーゴールドの花が咲き誇り、季節毎に花壇を彩ります。公民館を利用される子育てサロンの親子が「ワーきれい！」と喜んだり、子ども達が花に顔を寄せて「にっこり」笑顔を見せたり、散歩している人も一寸足を止めて眺めたりするなど、心とむ花壇づくりを心がけています。

私が見て感動した富山県庁前の石碑には、「一年の計 莫如樹穀うるにしかず 花や木を育てる楽しさを知ることは人をも育てる…(続きあり)」とあります。富山県だけの「花と緑の銀行」事業を、私たちが次代を担う子ども達に守り伝え、「花と緑と笑顔」をいつまでも残したいものですね。



利田公民館を拠点に、心とむ花壇づくり

報告コーナー

平成30年度「花とみどり・ふれあいフェア」を開催

- 29回目となる花とみどり・ふれあいフェアを、3月2日(土)～3日(日)にフューチャーシティー・ファボーレで開催しました。「花と緑でつなぐ新次代！」をテーマに、次代を担うお子さんたちが楽しめる、親子花束づくり、木工クラフトなど、関係団体・花と緑の銀行各支店の協力を得て、2万人以上の皆さんに花と緑に“見て、ふれて、感じて”いただきました。

平成30年度コンテナガーデンコンテスト・わたしの寄せ植え表彰

- 花と緑の銀行が主催する、コンテナガーデンコンテスト(12回)、わたしの寄せ植え(9回)の表彰を、フェア会場で3月2日(土)に行いました。各支店からコンテナ11作品、一般の方から寄せ植え27作品の応募があり、次の作品が入賞されました。

○コンテナガーデンコンテスト入賞作品

賞	市町村	地方銀行	出展団体	タイトル
大賞	高岡市	立野	立野栄町花づくり会	花信風(初春の風、花が咲く時期の到来を告げる風を表現)
優秀賞	南砺市	福野	東部花愛好会	早春の諧
優秀賞	上市町	上市	花と緑の銀行上市支店	和(輪)・手をつなごう～
佳作	射水市	小杉	小杉花作り同好会	インスタ映えするコンテナガーデン
佳作	富山市	奥田北	奥田北花愛好会	遊びに来られ…美しい富山へ
佳作	滑川市	田中	田中地区地方銀行	東福寺野自然公園から見える海と雪嶋の春



大賞 立野栄町花づくり会

○わたしの寄せ植え入賞作品

賞	氏 名	市町村	タイトル
最優秀賞	高木 悟美	砺波市	春 来る歓び!
優秀賞	高木 清一	砺波市	溢れるほどの、春
優秀賞	山田 政寛	南砺市	春一番
優秀賞	菅田 桂子	富山市	春の足音
佳作	大蔵 昌子	砺波市	春とはる
佳作	谷 かず子	南砺市	花かご
佳作	宮野 裕子	砺波市	となみ野の早春
佳作	森田 朝子	南砺市	南砺の春
佳作	樋上 淳子	富山市	春はウキウキ
佳作	久恵 健右	南砺市	麗かな光の中で
佳作	藤田 千春	上市町	春風に揺れて
佳作	川淵 嵩広	高岡市	春の日ざしのカラフルガーデン



最優秀賞 高木悟美

🌸 お知らせコーナー (6月～8月の主なイベント)

🌿 令和元年度花と緑のコンクール実施予定

コンクール名	応募締切	審査日
○ 富山県花のまちづくりコンクール		
幼稚園・保育所花壇部門	7月9日(火)	7月18日(木)～19日(金)
学校花壇部門	7月16日(火)	7月25日(木)～26日(金)
プレミアム花壇部門	7月23日(火)	7月29日(月)
花の道部門	7月23日(火)	8月1日(木)～2日(金)
一般花壇部門	7月23日(火)	8月7日(水)～9日(金)
○ 花と緑の標語コンクール	7月31日(水)	9月上旬
○ 花と緑のポスター原画コンクール	9月12日(木)	9月中旬

* 花と緑の銀行 HP でもご案内します。参照下さい。

🌿 富山県中央植物園

○夜間開園「ゲッカビジン観賞」 6月中旬～7月下旬(開花日2日間) 19:00～21:30

○早朝開園「ハスの花の鑑賞会」 7月20日(土)・21日(日) 6:00～

○夜間開園「熱帯植物探検」 7月26日(金)・27日(土) 19:00～21:00

○夏休み子ども企画「オオオニバスに乗ってみよう」 8月16日(金)～18日(日) 各日午前と午後
(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)

🌿 県民公園 頼成の森

○第34回頼成の森花しょうぶ祭り 6月14日(金)～23日(日) 10日間 9:00～17:00

全国有数の花しょうぶ園、多彩なイベントを準備しています。
(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは県民公園 頼成の森へ。)

○全国花のまちづくり南砺大会が開催されます。

- 主催 全国花のまちづくり南砺大会実行委員会、花のまちづくりコンクール推進協議会、南砺市
- 式典 7月6日(土) 13:30～16:40 福野文化創造センター「ヘリオス」
事例発表 山崎久雄氏(朝日町 2017 全国花のまちづくりコンクール大賞)
特別講演 辻本智子氏(兵庫県淡路島 奇跡の島の植物館プロデューサー)
- 現地見学会 7月7日(日) 8:00～14:30 南砺市の自然と街中に点在する地域花壇、世界遺産巡りなど
～ 全国花のまちづくり地方大会は、推進協議会(日本花の会等4団体)が各地方での花のまちづくりの普及・啓発を目的に、地方自治体と共催し、毎年開催しています。南砺大会で25回目となります。

問い合わせ先: 全国花のまちづくり南砺大会実行委員会事務局

(南砺市農林課内 Tel 0763-23-2016、Fax 0763-62-2112)



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-4187
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/>

花と緑の銀行だより 211号

発行日 令和元年(2019年)5月
再生紙を使用しています。

県民公園頼成の森

〒939-1431 砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540
FAX 0763-37-1450
<http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>